



彼らのいうとおり、会場を見渡しても、彼らと同じくらいの年代がないという点に気がつきました。さらに聞いていくと、「ここの人、あまり話さないね」「横にいるのに話してこないよ」というのです。会場そのものは、見ていて樂しそうな雰囲気だったのに、各テーブルの一人ひとりの様子を見なかつたと個人的に反省してしまうしました。

私の家の隣りに住むハモンに、このことを良く尋ねてもらったら、「ホールには大勢した。

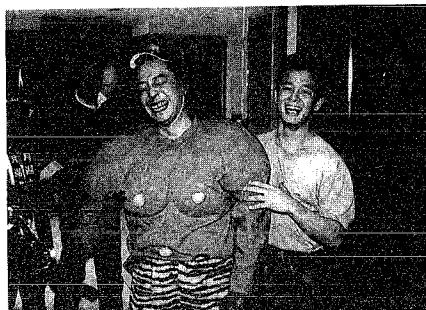
私自身、学生だったころ、

### 国際交流の チャンスを大切に

**ちょっとしたことから  
交流を始めてみませんか**

現在、小学校に二人のブラジルの子がいて、今年でもうすぐ二年生。友達は大勢いるし、学校も楽しいと近所のジ

文化の違いや風習の違いは当たりまえのこと、要は、お互いの気持ちがどこまで分かれ合えるかが、「国際交流」の



原点なのではないでしょうか。今回行われた交流会でも、楽しく料理を作ったみなさんや会場で楽しんだ人の中に、普段の生活の中に、交流の場を設けている人がいるのではないかでしょ。きっと世界が大きく見えてくることで、心のもち方も変化が必ずあると思います。ぜひ、これから交流会が行われる機会があるとき、大勢の人の参加をお待ちしています。

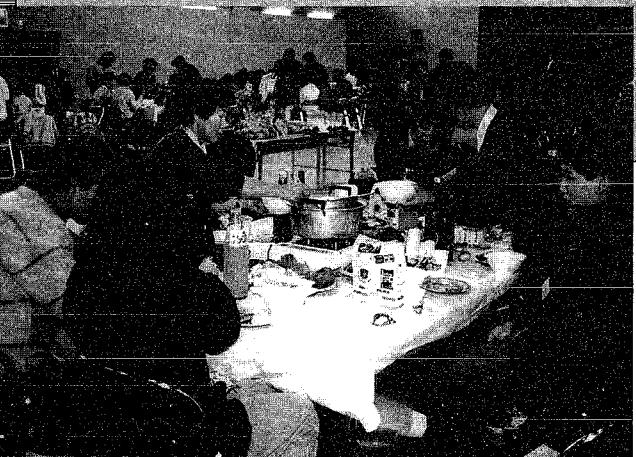
ゼリちゃんは話しています。当然、彼女（小学生の子は二人とも女の子）たち以外の若い人は、ブルボンで働いているわけで、学校へ行って友達をつくることはできません。村でも、そういったブラジルの人たちのためにも、同世代の集まる催し物をと考えています。ただ、みなさんには分かってもらいたいことは、それにばかり頼らないで、積極的に交流していくってほしいのです。とくに若い小・中学生や高校生、「ブラジルってどんなところかな?」「むこうの生活って日本とどう違うのかな?」って素朴なことを考える人は必ずいると思いません。そんなことから始めてみることが、それ以後の交流につながることになると思います。私も、取材を兼ねて隣りの家によく行きます。そこで、いろいろな話しをします。文化の違いやいろいろ、教わることは尽きません。ひとつ、チャレンジしてみたらいかがだと思います。

▲踊りは得意だよ

# 日本の味や風習はいかがでしたか

## 第2回日伯文化交流会

2月2日(日) 農環センター



▲日本の料理に舌を巻く?

二月二日に行われた「第二回の日伯文化交流会」は、前回の内容とは逆の、日本料理や日本の風習を体験してもらう交流会となりました。参加したブラジルの人たちの中には、新潟県以外の県から本村に来ている人や、初めて日本に来た人たちとさまざま、「日本料理を知っている人も知らない人も、味わって楽しんでもらいたい。ま

さま、「日本料理を知つている人も知らない人も、味わって楽しんでもらいたい。ま

た、日本の風習を少しでも紹介できたら」という趣向を第一に考えたのです。

当日の午前中、就業センターの調理室にブラジルの人たちと村の人たちが集まり、合

同の調理が始まる。しかし、

緊張しているのはどうも村の

人の方? ことばの違いにどう

しても抵抗があるようでは普通の日本語もなかなか喋ろうとなかなかたがしません。確かに、ブラジルの人たちの中には日本語の上手な人はいるものの、各班に分かれてなるとその中にはまだ上手な人がいないのは当然、それでも、がいないのは当然、それでも、

ブラジルの人たちは「料理が

覚えられるから」「スキニシ

ップだよ、いい機会です」と

いつた感覚が強く、調理が始まれば一生懸命ということばがピッタリでした。こういつた場面で、日本人の外人コンプレックスって意外に大きなか壁なんだなあと実感させられた。それでも、時間が過ぎる

楽しい雰囲気が……。この

ようなことが、各地区的家庭の台所を舞台にして行われるようになれば、これ以上すればらしいことはないでしょう。



▶料理をするのは世界みな一緒に

午後になると会場の農環センターにぞくぞくと人が集まり、午前中に調理された料理がテーブルを飾る。乾杯とともにその料理に手がつけられると、「おいしいね」の顔があちらこちらのテーブルで見られました。その料理とは、さぞかし見事な高級料理かと思われるでしょうが、料理の正体は、おでん・ぶりの照り焼・巻き寿司などの素朴なものばかりなのです。しかし、日本を代表する料理でいて、それなりに味を追求していくば奥の深いものばかり、日本料理を紹介するうえでは十分その役目を果たせたものでした。



▶踊りは得意だよ

交流会のとき、取材を兼ねていろいろなことを聞いていたらこんな話がでました。「ねえ、僕たちと同じ、若い人がいいね」「家の横、若い人がいいね」「家がいいね」などころハツとする話でした。

### 国際交流の 難しさを

また会場では、明日（三日）が節分にあたり、節分を体験してもらったり、ブラジルのランバダをみんなで踊つたりといった楽しい一日となりました。